

# J. S. Bach und seine Erbschaft

バッハに至る豊穡な音楽遺産



バッハと先達の響き

Meisterwerke der Bach-Familie

H. Schütz  
H. シュッツ

D. Buxtehude  
D. ブクステフーデ

J. S. Bach  
J. S. バッハ

バビロン川のほとりにて

主よ、我らの罪苦を取去り給え

ミサ ト短調 BWV 235

他 バッハ一族の作品

## Tokyo Barock Chor

東京バロック合唱団

東京カテドラル聖マリア大聖堂

2011年10月21日(金)

PM 6:30 開場

PM 7:00 開演

全席自由

前売 3,000円

当日 3,500円

pia.jp/t

チケット  
ぴあ

0570-02-9999

お問合せ

<http://sound.jp/tobaro/>

お晩です、小川さん！

ドイツ語のバッハ「BACH」が日本語の「小川」であることは、皆よくご存じだと思う。

あの偉大な大バッハの音楽もその元をたどれば、一族の始祖で、シター（リュート族の楽器）の名手であったパン焼き職人のファイト・バッハに行き着く。彼は小川にかかる水車小屋から響くコットン、コットンという音に合わせて楽器を奏でていたそうだ。

そしてその小川は大河になり、大海に注がれることになる。その過程でどれほど多くの者がその水を汲みこんだことか！ 私たちも今回またその水を汲みに行きたいと思いつつ演奏会を企画した。偉大な作品の中に含まれる端正さと素朴さはまさに一体のものであると私は信じている。それらが彼らの一族によってどのように培われ成熟していったのか、ぜひ知りたいし、皆様に少しでもお伝えできたらと念じている。

鈴木 仁

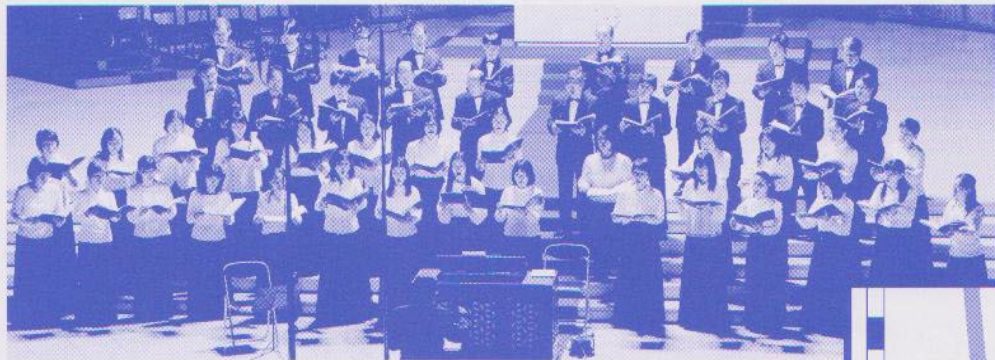
## 常任指揮者 鈴木 仁

東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修了。ドイツのウエストファーレン州立教会音楽院及びデトモルト国立音楽大学に学ぶ。W.エーマン、T.アルトマイヤー、H.リンク各氏に師事。1986年、東京バロック合唱団結成当初より常任指揮者として指導にあたる。現在エリザベト音楽大学名誉教授。



## 東京バッハ・カンタータ・アンサンブル

「東京藝術大学バッハカンタータクラブ」（小林道夫氏指導）の出身者を中心とする、器楽アンサンブル。内外のバッハ演奏家との数多くの共演を行う。宗教合唱曲に対する様式感とすぐれた解釈を持ち、モダン楽器とピリオド楽器のどちらの編成にも対応する。東京バロック合唱団とはこれまで定期演奏会にて10回共演している。



## 東京バロック合唱団

1986年、鈴木仁氏の指揮、指導のもとに、早稲田大学・日本女子大学室内合唱団のOB・OGを中心として結成。ルネサンス、バロック期の大曲を主要なレパートリーとし、東京カテドラルを主要な演奏会の場として、活動を行ってきた。これまで、バッハのマタイ受難曲、ヘンデルのメサイア、ブラームスのドイツレクイエム等数多くの演奏会において好評を博し、団員の裾野も徐々に広がっている。

アルト 鈴木 美穂  
テノール 鈴木 仁  
バス 稲葉 正俊

## 東京カテドラル聖マリア大聖堂



目白駅から新宿西口行きバス約10分「椿山荘前」下車  
地下鉄有楽町線「江戸川橋」1a出口徒歩約10分